

2. 圏域の概況

(1) 圏域の概況

千葉県南端に位置する本圏域は、館山市と南房総市で構成され、西は東京湾、東は太平洋に面し、海岸線は南房総国定公園に指定されています。内陸部には緑豊かな田園や照葉樹林の丘陵が広がっており、年間平均気温は16℃以上と、冬でも花が咲き誇る温暖な気候に恵まれた自然豊かな地域です。半島性という地理的特性を有しながら、東京湾アクアラインと東関東自動車道館山線の全線開通により、東京都心からのアクセスは飛躍的に向上しました。

<館山市>



●市の紋章

カタカナの「タ」と「テ」が漢字の「山」を囲む図柄となっています。(昭和14年12月設定)

- 人口 45,153人(総務省「国勢調査」2020)
- 世帯数 20,272世帯(総務省「国勢調査」2020)
- 面積 110.05km²(国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」2022)
- 市の紹介

温暖な気候に恵まれ、1月にはポピーやストック、菜の花が咲き誇る「花のまち」です。34.3kmの変化に富んだ海岸線には、別名「鏡ヶ浦」とも呼ばれる館山湾越しに臨む富士山や夕日の絶景、美しい砂浜が広がる平砂浦海岸など、数多くの景勝地が存在し、また、サンゴやウミホタルの生息域として貴重な海洋生物資源を有しています。さらに、スキューバダイビングをはじめとしたマリンスポーツや夏の海水浴の適地としても知られています。「館山夕日栈橋(館山湾多目的観光栈橋)」や交流拠点「“渚の駅”たてやま」の完成により、海の玄関口としての整備も進んでいます。

<南房総市>



●市章

7つの地域を広がりのある花びら7枚にたとえて、南房総の暖かい春のイメージを図案化したものです。

南房総市の夢と希望が自然と共存し発展する姿を表しています。(平成18年3月施行)

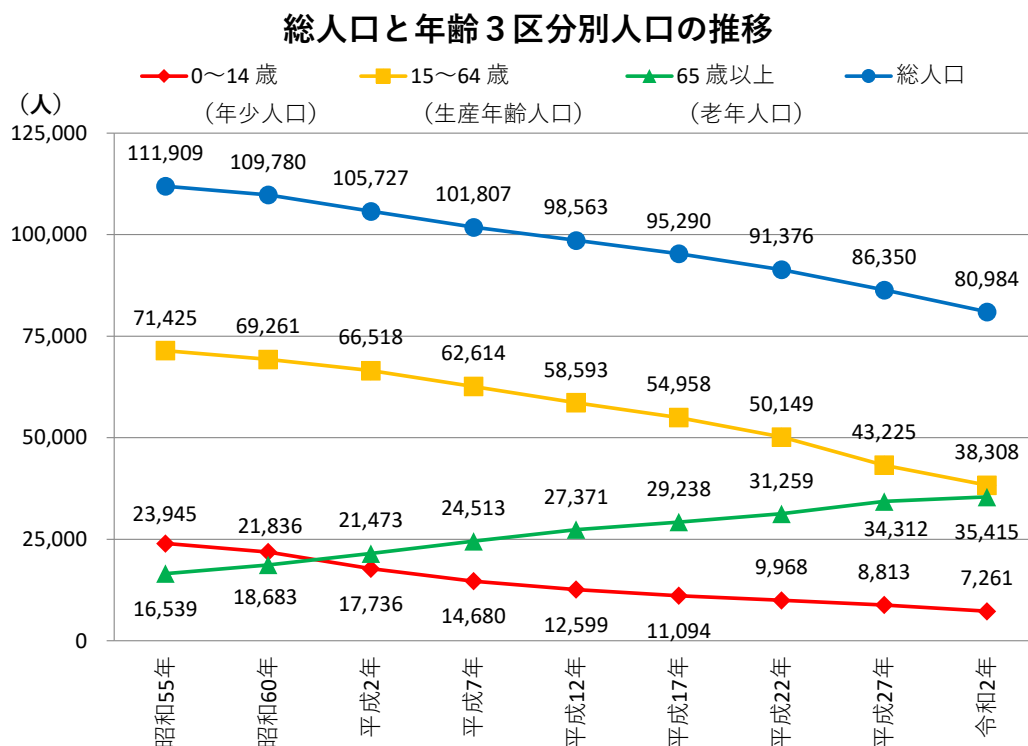
- 人口 35,831人(総務省「国勢調査」2020)
- 世帯数 14,720世帯(総務省「国勢調査」2020)
- 面積 229.55km²(国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」2022)

●市の紹介

平成18年3月20日に安房郡富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の6町1村が、その区域をもって合併しました。市域の北側には県下最高峰の愛宕山（408m）をはじめ、富山（349m）、伊予ヶ岳（336m）などの緑濃い山々が連なり、他の三方は東京湾と雄大な太平洋に面した自然の恵み豊かな地域です。暖流の影響により冬は暖かく夏は涼しい海洋性の温暖な気候で、一部無霜地域を有しています。四季折々に咲き乱れる花々などの豊かな自然資源と、古代から近代に至る遺跡や社寺などの歴史的資源を有しています。

◆人口の推移

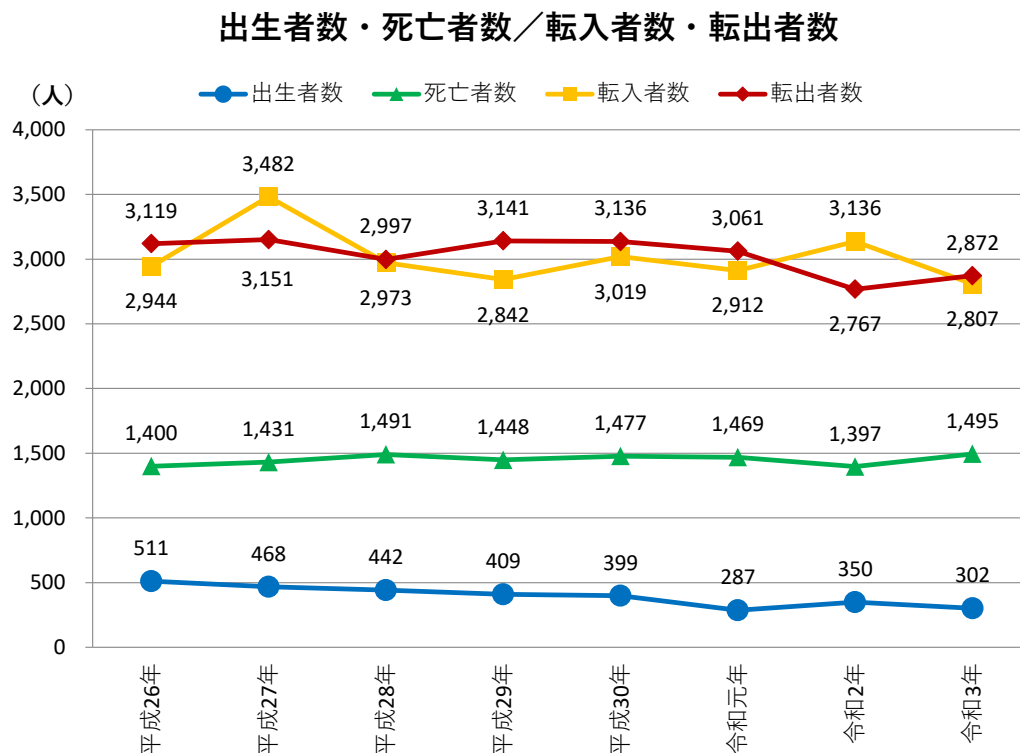
圏域の総人口は昭和55年の111,909人から一貫して減少しており、令和2年には80,984人となっています。年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にある一方で、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあります。



出典：総務省「国勢調査」

◆人口動態（出生者数・死亡者数／転入者数・転出者数）

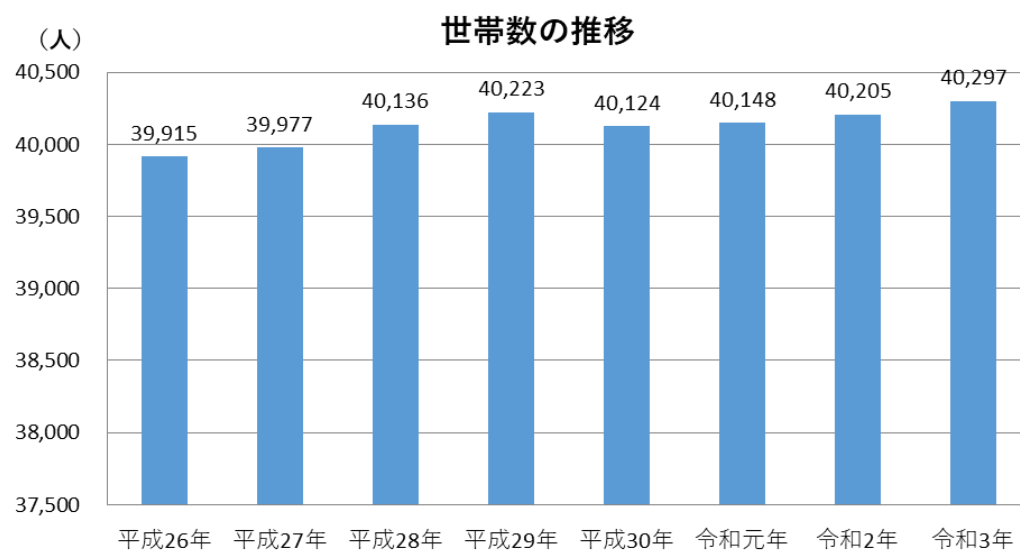
死亡者数はほぼ横ばい、出生者数は減少傾向にあり、自然減の状態が続いています。社会増減は年によって変動がありますが、転出者数が転入者数を若干上回る年が多くなっています。



出典：千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）

◆世帯数の推移

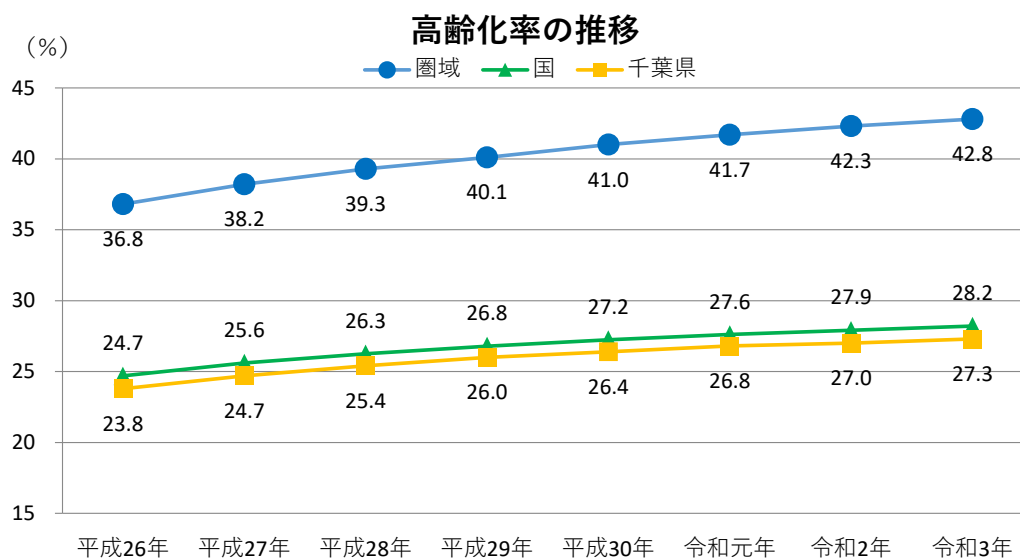
世帯数は、平成29年まで増加傾向にあり、平成30年と令和元年で減少したものの、令和2年以降は再度増加しています。



出典：千葉県年齢別・町丁字別人口調査（住民基本台帳人口ベース）

◆高齢化率の推移

国や千葉県と比べると、圏域の高齢化率は1.5倍程高く、上昇のペースも速くなっています。

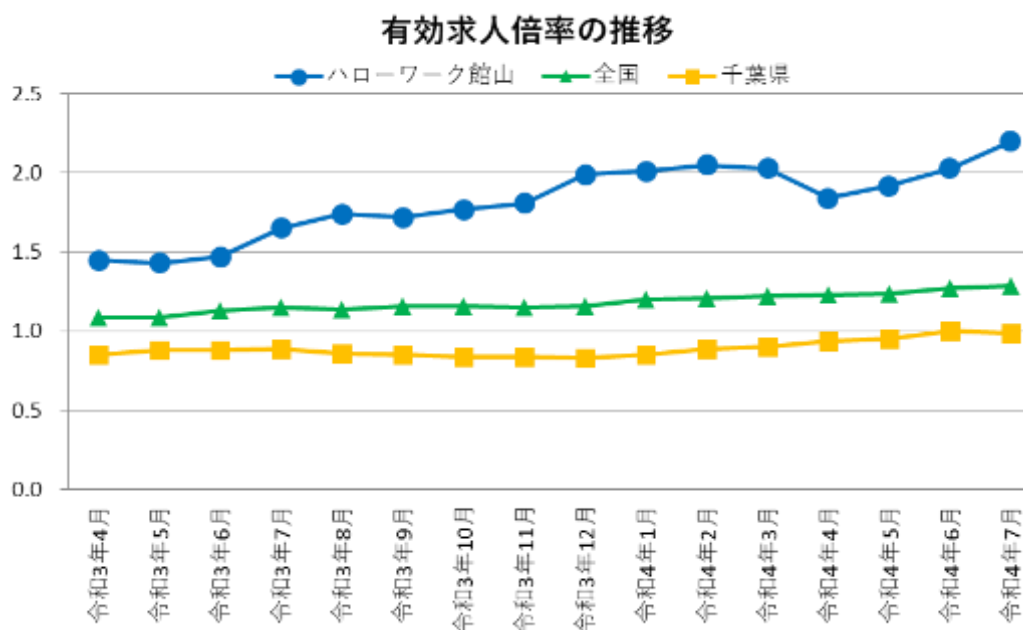


出典：「千葉県年齢別・町丁字別人口」

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

◆有効求人倍率の推移

直近1年間の有効求人倍率の推移をみると、ハローワーク館山管内では、国や県を上回る水準となっており、千葉県下では最も高くなっています。

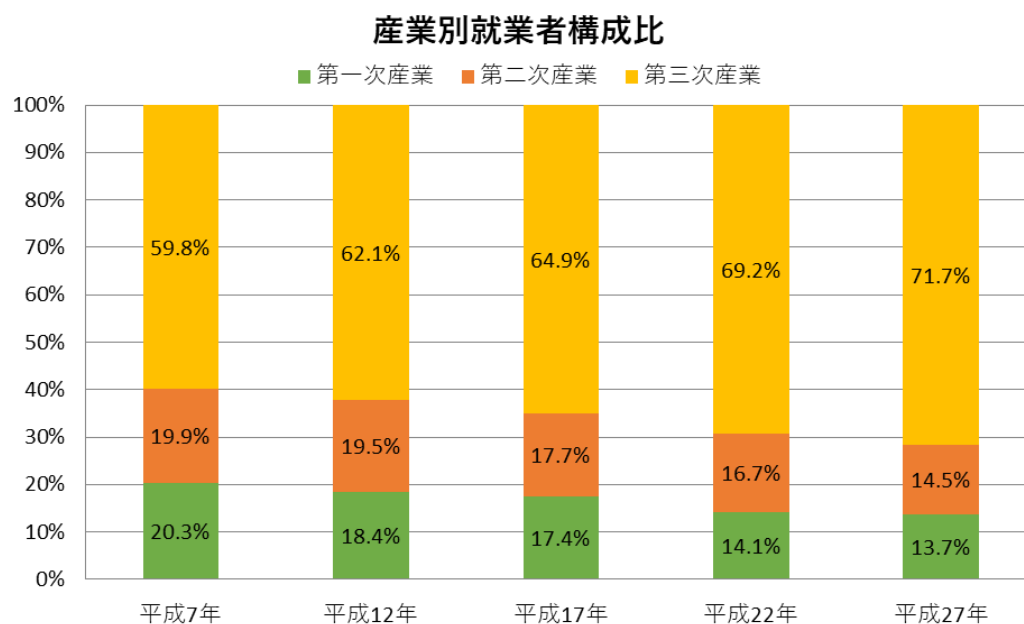


出典：厚生労働省千葉労働局「最近の雇用失業情勢」定例記者発表資料

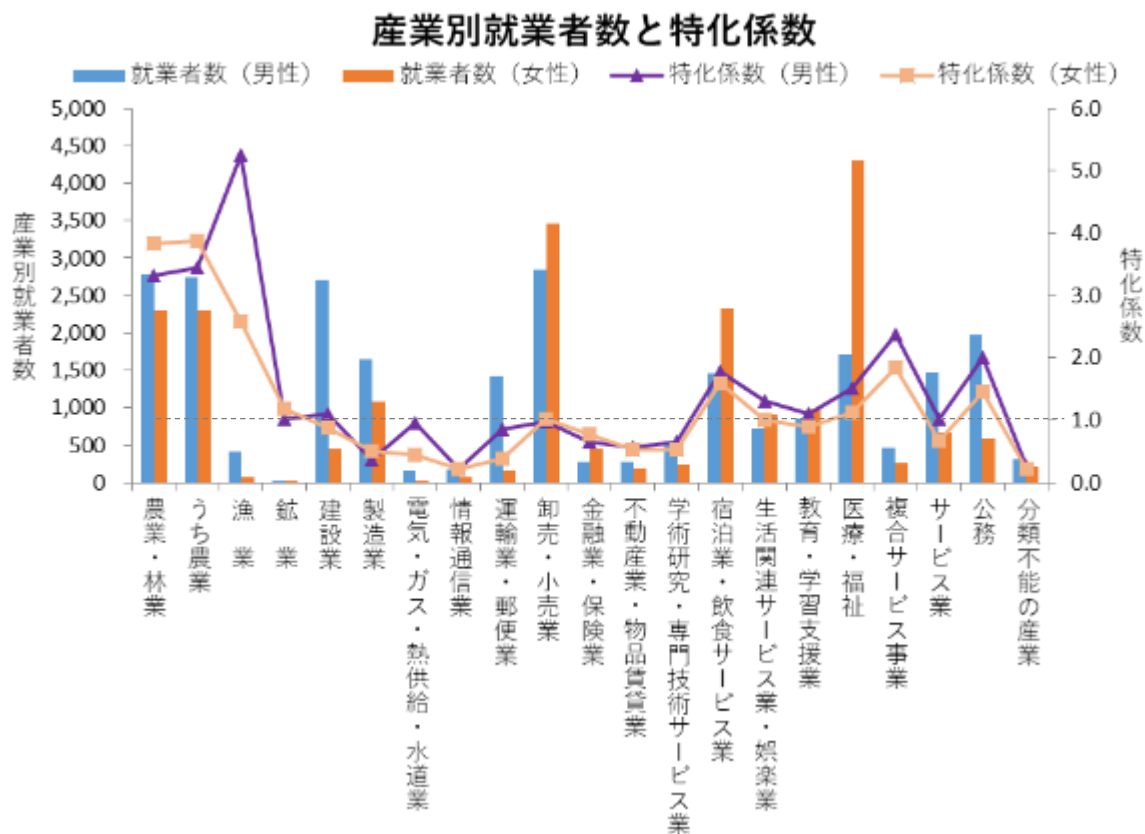
※ハローワーク館山管轄区域：館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町

◆産業関連データの推移

平成7年に約6割だった第三次産業の割合が一貫して増加しており、平成27年には約7割となっています。



出典：総務省「国勢調査」2015



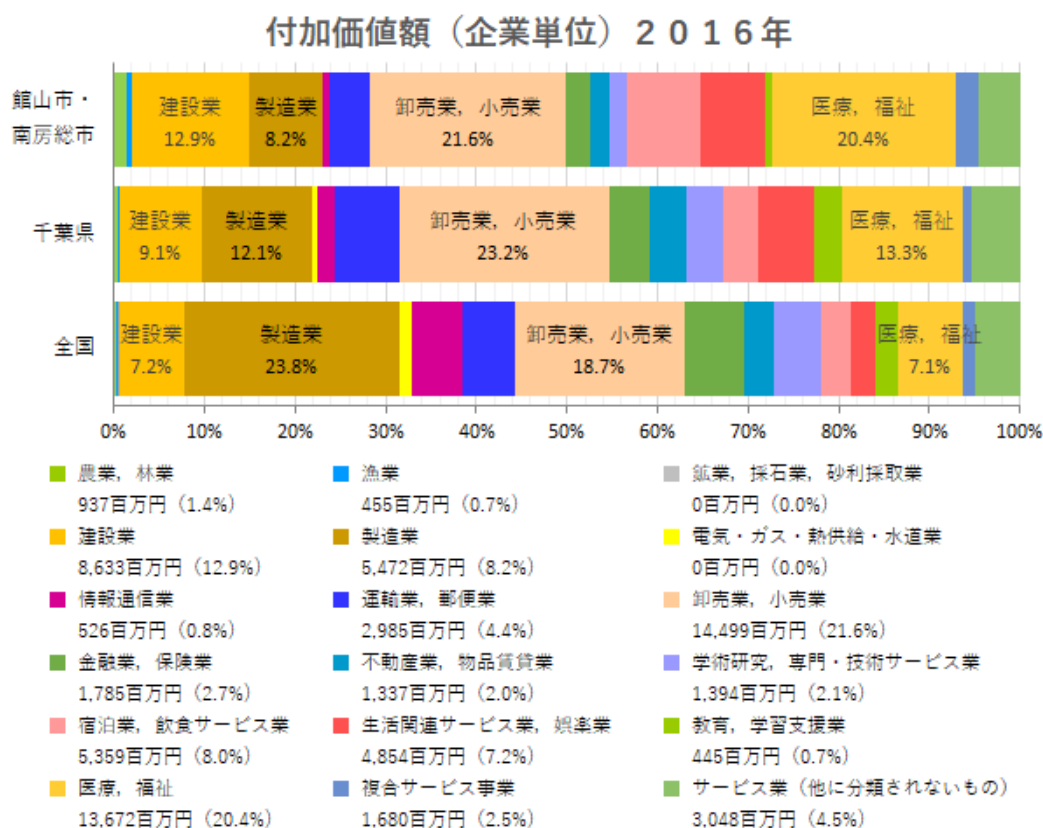
出典：総務省「国勢調査」2015

就業者数が多い産業は、男性では「農業・林業」、「建設業」、「卸売・小売業」、女性では「医療・福祉」、「卸売・小売業」、「農業・林業」となっています。

特化係数※が高い産業は、男性では「漁業」、「農業・林業」、「複合サービス事業」、女性では「農業・林業」、「複合サービス事業」、「宿泊業・飲食サービス業」となっています。

※特化係数：各産業の付加価値額が全産業の付加価値額に占める割合について、国を1とした時の係数。特化係数が大きいものほど特徴的な産業であることを意味する。

全国や千葉県と比べると、圏域では「建設業」、「医療・福祉」、「宿泊業・飲食サービス業」の付加価値額の割合が高くなっています。一方、「製造業」の割合は低くなっています。



出典：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、RESAS による再編加工

(2) 圏域の課題

本圏域は東京の中心部から100km圏と、東京都心に近い立地条件にありながら、温暖な気候と輝く海、緑豊かな自然に囲まれ、恵まれた環境のもと、次世代に引き継ぐべき大切な歴史や伝統・文化を育んできた「住み良い」地域です。しかし、近年では人口減少と少子高齢化の進行、若年層の流出など日本全体が抱える構造的な人口問題により、自治体そのものの持続性・継続性が危ぶまれています。

これらのことを踏まえ、子どもが生き生きと育つ環境づくりに努めながら、若年層の定住・移住を促していくために、課題を次のとおり整理します。

① 本圏域で子どもが生き生きと育つ環境をつくる

令和2年(2020年)国勢調査によれば、圏域の15歳未満人口は、7,261人となっており、平成27年(2015年)の8,813人から5年間で約1,500人減少し、少子化がさらに進行しています。安心して子どもを産み、育てられる環境づくり、子どもがのびのびと、生き生きと育つ環境づくりをより加速する必要があります。

② 本圏域で働ける、経済が元気な環境をつくる

本圏域の産業は、東京からのアクセスの良さを活かした観光業や恵まれた気候・風土の下で培われてきた農水産業、地域の拠点性の高さを利用した商工業が中心となっています。本圏域のように、豊かな自然と多様な資源に恵まれた地域への関心が高まれば、健康・観光など、さまざまなビジネスチャンスも生まれるものと思われます。企業のみならず、起業家などの人材誘致に努めつつ、本圏域の強みを活かした産業と雇用の場づくりに努めていく必要があります。

③ 本圏域に住み続ける人・移り住む人・関わる人を増やす

暖かい気候と人柄を兼ね備える本圏域は、子育てに適した地域です。これは、特に東京など都市に暮らす人々にとっても魅力となりえます。あらゆる機会を捉え、積極的に本圏域の住みやすさについての情報発信に努めるとともに、住民・事業者などと連携して本圏域への移住を支援していく必要があります。

また、本圏域に居住しなくとも、週末を本圏域で過ごす、観光で訪れる、仕事で縁ができたなど、さまざまな形で本圏域と関係を築く人を増やしていくことも重要です。

(3) 圏域の結びつき

館山市と南房総市では、行政区域を超えるさまざまな住民ニーズに対応するため、連携し調整を図りながら共同による行政事務処理を実施しています。

制度	名称	主な共同処理事務の内容	構成自治体
一部事務組合 ※1	安房郡市広域市町村圏事務組合	・火葬場に関すること ・消防に関すること ・市町村等職員共同研修に関すること ・市町村等職員採用試験に関すること ・地域救急医療対策に関すること ・安房地域の水道事業に係る統合協議会の事務局に関すること	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
機関等の共同設置※2	障害者自立支援協議会	・障害者総合支援法に基づく協議会を安房3市1町で共同開催。 ・地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う。	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
その他	安房郡市保健連絡会	・保健・予防・健診に関すること	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
	「新型コロナワクチン接種」の集団接種の予約受付	・「新型コロナワクチン接種」の集団接種の予約受付に関すること	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
	安房地域包括ケア連絡会	・地域包括ケアシステム構築に向けた体制及びネットワークづくりに関すること	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町

	房州うちわ振興協議会	・房州うちわの需要開拓事業 ・伝統的工芸品出展事業 ・児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業 ・後継者育成事業	館山市 南房総市
	南房総観光連盟	・観光推進、振興に関すること	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
	宿泊・滞在型観光推進協議会	・観光推進に関すること	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町 富津市
	南房総・館山地域公共交通活性化協議会	・網形成計画の策定及び変更の協議に関すること ・網形成計画の実施に係る必要な協議に関すること ・網形成計画に位置づけられた事業の実施に関すること	館山市 南房総市
	東関東自動車道館山線・一般国道127号富津館山道路建設促進期成同盟会	・道路整備促進に係る要望活動の実施	木更津市 君津市 富津市 館山市 南房総市 鋸南町
	高規格道路「館山・鴨川道路」整備促進期成同盟会	・道路整備促進に係る要望活動の実施	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
	2級河川滝川改修促進協議会	・2級河川滝川改修促進に係る要望活動の実施	館山市 南房総市

※1：一部事務組合：2以上の地方公共団体が、その事務の一部を共同して処理するために協議により規約を定めて設置する事務の共同処理機構。

※2：機関等の共同設置（地方自治法252条の7）：協議により規約を定め、執行機関として委員会若しくは委員、執行機関の附属機関、執行機関の事務を補助する吏員、書記その他の職員及び専門委員を共同設置する。

※この他にも、多くの事務を連携して処理しています。